

令和3年4月30日

富山県美術館 デザイン・コレクション展1 の開催について

富山県美術館では、4月29日(木曜日・祝日)から7月13日(火曜日)まで、3階の展示室5と展示室6において「デザイン・コレクション展1」を開催しておりますので、ご案内いたします。



概要

会期：2021年4月29日(木曜日・祝日)～2021年7月13日(火曜日)

場所：富山県美術館3階 展示室5、6

展示：展示室5／デザインコレクション

展示室6／瀧口修造コレクション

展示室6／シモン・ゴールドベルク&山根美代子コレクション

展示内容と見どころ

■展示室 5 / デザインコレクション

特集：亀倉雄策のポスター

亀倉雄策(1915-1997)は、戦後日本のグラフィックデザインを牽引してきたグラフィックデザイナーの1人です。当館の前身である富山県立近代美術館において亀倉は、1985年から始まった「世界ポスタートリエナーレトヤマ(IPT)」の構想段階から関わると共に、第1回展から第5回展まで審査員を務めました。この度、亀倉雄策氏のご遺族および亀倉雄策資料室の方々からポスターを寄贈していただいたことに合わせて、過去に亀倉氏自身から当館にご寄贈いただいたポスターを交えて展示いたします。

☆みどころ

1964年の東京オリンピックや1970年大阪万博のポスターなど国際的なイベントのポスター、図形・文字の明快な構成や、写真を使用したポスターなど、亀倉の多様な表現をお楽しみください。

■展示室 6 / 瀧口修造コレクション

瀧口修造の肖像 Part 1 松澤宥・加納光於・合田佐和子



☆みどころ

昭森社から発行された雑誌『本の手帖』1969年8月号は瀧口修造を特集し、親交のあった詩人、芸術家が瀧口に関する文章を寄せました。瀧口自身もそれまでの来し方を振り返り「自筆年譜」を執筆しています。また、雑誌冒頭には、10名の芸術家が瀧口修造をテーマに制作した作品が掲載されています。今回の展示「瀧口修造の肖像」では、この10名の作家(合田佐和子、岡崎和郎、松澤宥、池田龍雄、赤瀬川原平、中西夏之、野中ユリ、荒川修作、加納光於、藤松博)に焦点を当て、それぞれが制作した“肖像”と瀧口の旧蔵作品を紹介し、その交流を振り返ります。今回はPart 1として、松澤宥、加納光於、合田佐和子の3名を取り上げます。

■展示室 6 / シモン・ゴールドベルク & 山根美代子コレクション

「ゴールドベルクとフランス芸術」

シモン・ゴールドベルク(1909-1993)が愛蔵し、美代子夫人から2006年に寄贈された美術作品をご紹介します。



☆みどころ

ゴールドベルクとフランスの音楽や美術との関わりをテーマに、ゴールドベルク旧蔵の画集や、交流のあったフランスの作曲家からの手紙や楽譜などを、当館コレクション作品とあわせてご覧いただけます。

観覧料

コレクション展：一般 300 円(240 円) (※) ()内は 20 名以上の団体料金

次の方はコレクション展の観覧無料

◎小・中・高校生と大学生、70 歳以上の方

◎学校教育、社会教育活動としての児童・生徒の引率者
(観覧料免除申請書の提出が必要)

◎各種手帳をお持ちの障がい者の方
(手帳所有の方 1 名につき付き添い 1 名まで無料)

(※) 詳しくは、当館のホームページをご覧ください。

→ <https://tad-toyama.jp/> (外部サイトへリンク) (別ウィンドウで開きます)

コレクション展について

富山県美術館のコレクション展では、前身の富山県立近代美術館から現在までの収蔵作品を展示しています。年 4 回程度さまざまなテーマによる展示替えを行い、多彩なコレクションを紹介。当館 2 階の展示室 1 では絵画・彫刻を中心とし、3 階の展示室 5 と展示室 6 ではポスターや椅子、富山県ゆかりの瀧口修造やシモン・ゴールドベルクのコレクションを展示しています。

**MAKE
TOYAMA
STYLE**
BEYOND CORONA, WITH US

